

Archer® Suite

どの組織にとっても、リスクを管理していなかった場合の悪影響は甚大であり、リスクが増大し続けるにつれ、経営陣や役員たちはますます精密に調査を行い、リスク管理に熱心に取り組んでいます。効果的なリスク管理は、重大な障害や業務の中断の回避にとどまりません。統合されたリスク管理に重点を置くリスク管理の文化を作り出すことで、組織を保護し、価値を高めることができます。

このトランスフォーメーションには、コンプライアンスの各項目が達成されていることを消極的に確認することから、組織全体の参加を必要とする積極的なリスク管理モデルへの文化的移行を管理することが必要です。しかし、多くの組織では、現在のリスク管理メカニズムが未発達であるか、分離されているか、または効果的ではありません。増加するリスクに効果的かつ効率的に対処する能力がないため、組織は、ビジネス リスクへの対応に苦勞し、成長のために利用できる機会や、その他の戦略的目標を達成する機会を逃しています。

非常に多くの分野でリスクが急激に変化しているため、サイロ化されたプロセスや手動プロセスのために、ステークホルダーに完全な情報を迅速に提供することが困難になっています。デジタル トランスフォーメーション、グローバル化、市場の競争によるリスクは加速しており、範囲が広いため、非効率な内部プロセスによって深刻化しています。文書のバージョン管理の問題の難しさから、一貫性のない方法によるリスクの測定と報告に至るまで、分散化され、サイロ化された情報により、リスクへの対処に大きな障害が発生します。最も効果的なポイントソリューションを使用している場合でも、情報がさまざまな場所に保存され、各部門ごとに異なる方法で使用されるため、この課題は深刻化します。

リスク管理の活用により得られるメリット

リスクは、ビジネスの非常に多くの側面に影響を与えるため、リスク管理ソリューションは、同等の影響力を発揮する必要があります。組織全体にわたる統合リスク管理アプローチを使用すると、損失を防ぐと同時に、戦略的な成長を促進することができます。すべての部門にわたるリスクの状況の測定と報告を行う一般的なプロセスは、ビジネスの日常的な業務に統合されている必要があります。さらに、この情報をステークホルダーと共有して、リスク環境と組織への影響（プラスとマイナスの両方）の可能性について十分に理解できるようにする必要があります。戦略的イニシアティブにリスク管理をプロアクティブに結び付けることができると、リスクにより、競争上の優位性が得られる結果となる可能性があります。

コンプライアンス重視から、リスクと戦略の目標へと変革する、ガバナンス、リスク、コンプライアンス（GRC）の概念のトランスフォーメーションにより、統合リスク管理に向けた、より広範でビジネス クリティカルな役割が強化されます。これにより、複数のリスクを、より大きなランドスケープの一部としてまとめて考慮することが可能になり、以前はサイロ化されていたセキュリティ チームとリスク チームが協力してリスクに対処できるようになります。これは、より多

くのデジタル イニシアティブを組織が開始することにより、機会が増加し、デジタル リスクがもたらされるため、特に重要になります。統合リスク管理は、GRC パラダイムの進化を表し、最終目標に関連する明確な用語で概念に名前を付けます。つまり、効率性と効率性の向上のための、統合方式によるビジネス リスク (デジタル リスク、セキュリティ リスク、運用上のリスクを含む) の管理です。最終目標は、統合リスク管理を戦略的メリットとして活用し、組織の目的を達成して、より予測可能な結果を得られるようにすることです。

Archer Suite のメリット

Archer Suite を使用すると、リスクとコンプライアンスの業務を1つのプラットフォームに一元化し、真に統合されたリスク管理プログラムをサポートすることができます。RSA Archer Suite は、アカウントビリティの確立、コラボレーションの促進、可視性と分析の向上、組織全体でのリスクプログラムの効率化に役立ちます。RSA Archer により、効果的なプログラムを実施して、ベスト プラクティスを推進し、プロセスを標準化することができます。また、十分な可視性が得られるため、エグゼクティブレベルの質問に答え、リスクとコンプライアンスに関連する状況を明確にすることができ、コンプライアンスから、リスクと成長のバランスへと重点を移すために役立ちます。

組織全体での効果的なコラボレーション

ほとんどの組織は、1つの分野のみでリスクのプロセスとプログラムを構築した後で、新たなビジネス ニーズと要件が出現するにつれ、ワークフローとテクノロジーを追加します。残念ながら、これにより、リスク関連業務の孤立地帯が作成されます。その結果、リスク管理の作業が重複したり、さらに悪い場合は完全にスキップされたりして、保護にギャップが生じる結果になります。リスク情報が正確、包括的、適時であるかどうかを知る方法はありません。これらの要因によって、チーム内のアカウントビリティの確保が困難になり、限られたリソースを使用する作業の優先順位を付けることがほぼ不可能になります。実は、組織全体のリスクを把握し、常時監視することができる統合アプローチを使用しない限り、リスクを効果的に管理することはできません。

Archer Suite は、1つのプラットフォームに統合され、ビジネス資産の完全なカタログに基づいて構築されたリスク管理ソリューションの広範なポートフォリオを提供しています。リスク データは、同じ分類法を使用して組織全体で管理し、同じメトリックを使用して測定することができます。1つのデータ ソースにより、リスク プログラムの内容を可視化し、ステークホルダーの更新を適時に実行することができます。さらに、Archer Suite 製品は、業界に関する深い知識とベスト プラクティスに基づいて構築されています。組織のすべての分野で同じリスク言語を使用し、リスク状況に関する包括的な見解に沿ったプロセスを実行すると、組織全体でより効果的にコラボレーションを行って、リスクに対してさらに強固で完全な防御を実現できます。

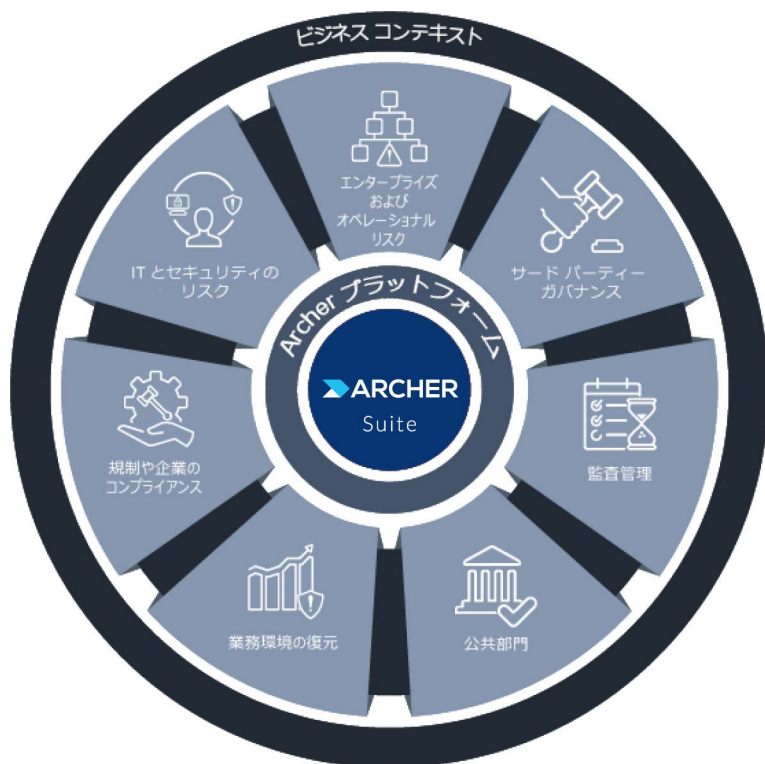
ビジネスのスピードに適応

今日の組織によるリスクへのアプローチと取り組みの方法は、5年前とはまったく異なっています。今後5年間も必ず、リスク管理プログラムの運用方法が、ほぼ同様に変化します。規制が変化しているだけでなく、ビジネスの原動力と

コンプライアンス重視から、リスクと戦略の目標へと変革する、ガバナンス、リスク、コンプライアンス (GRC) の概念のトランスフォーメーションにより、統合リスク管理に向けた、より広範でビジネス クリテリカルな役割が強化されます。

なるテクノロジーも変化しており、組織をさらにデジタルし、つながりを強化しています。以前は小規模で地域が限定されていた脅威は、現在、世界的に重大な影響を及ぼしています。

Archer Suite を使用すると、業界で最も構成可能なソフトウェアを基盤として、リスク管理プログラムを確立し、適応させ、成熟させることができます。リスクランドスケープの変化につれ、新しいツールの追加、新しいレポートの作成、ビジネスプロセスの変更のすべてを実行すると同時に、最初から設定されているものと同じ分類法を維持することができます。柔軟な統合リスク管理プラットフォームを採用しているArcherにより、新しいリスクケースの出現に合わせて、現在の構造を簡単に拡張でき、チームは、日常的なビジネスプロセスにリスク管理を容易に組み込むことができます。マネージャー、経営幹部、役員は、必要なときに必要な実用的情報にアクセスすることができます。Archer Suite を使用すると、プログラムの価値を基盤として構築することができ、現在と将来とを問わず、あらゆる形態のリスクから保護されるようになります。



Archer Suite の主なメリット

リスクの可視性の向上

Archer Suite は、組織全体のリスクデータを統合し、リスク分析を使用して、包括的で統合されたリスクイメージを組織に提供します。

効率性の向上

Archer ソリューションを使用して、組織は、さまざまなガバナンス、リスク、コンプライアンスのプロセスの合理化と自動化を行い、コスト削減とその他の効率性の向上を実現することができます。

意思決定の促進

Archer に組み込まれているリスク分類法によって、実用的な情報を適時に収集するためのフレームワークが提供されるため、より多くの情報に基づくリスクケースの意思決定が促進されます。

リスクに関するアカウントビリティを推進

Archer ソリューションを使用するお客様は、第一線のマネージャーへの明確なアカウントビリティの推進により、企業全体のリスク管理の強力な文化を推進しています。

ベストプラクティスアプローチの実現

業界の標準とベストプラクティスを組み込んで設計されたArcherにより、お客様は、効果的なリスク管理プロセスを迅速に実装できます。

リスク管理プログラムの成熟とその確信

リスク管理は大きく変化しているため、企業のニーズが進化し続ける中で、どのようなリスク管理プログラムが現在から将来にかけて成功するのかを正確に突き止めることは困難です。選択を誤ると、組織やブランドの評判に大きな損害が生じる結果となる可能性があります。リスクとコンプライアンスは、ハイリスクでハイリターン領域であり、経営陣も組織も、試行錯誤による失敗を許容する余裕はありません。適切なプログラム構築計画を立てずに開始すると、貴重な時間が失敗や誤りで無駄になる可能性があります。リスク管理プログラムの開発に時間がかかりすぎたり、対象範囲が完全にはカバーされていない場合は、組織が、重大なセキュリティ侵害が発生するか、規制による罰金やさらに重い処罰の対象となる可能性があります。

Archer Suite を使用すると、業界トップクラスのベンダーと、リスク管理の担当者やエキスパートの世界最大のコミュニティを利用して、安心してリスク管理プログラムを使い続けることができます。このエコシステムからのガイダンスとアドバイスにアクセスし、認定パートナーと協力して、確実に組織の固有のニーズに合わせて実装することができます。Archer Suite により、ベストプラクティスと業界の専門知識に基づく最先端のテクノロジーを活用して、1日目からリスク管理プログラムによる効果を上げることができます。

Archer Suite

Archer プラットフォーム

成功するリスク管理は、共通のテクノロジー基盤から始まります。RSA Archer プラットフォームは、リスクおよびコンプライアンスプログラムのための共通の機能、方法論、分類法を提供します。これにより、リスク管理プログラム全体にわたってデータ統合を強化すると同時に、共通の言語とレポート構造を作成して結果を共有することができます。また、ビジネスを総合的に把握し、サポートインフラストラクチャの価値を判断し、その情報を使用して、ビジネスへの影響に基づき、直ちに注意する必要があるリスクと統制の優先順位を付けることにより、リスクに関する明確なビジネスコンテキストを確立することができます。この基盤を導入したうえで、次の分野でリスク管理を可能にする1つのプラットフォームを活用して、複数のリスクを管理することができます。

IT セキュリティ リスク管理

最新のITおよびセキュリティの脅威は、ますますデジタル化する今日の組織に広がっています。Archer IT & Security Risk Management を使用すると、組織全体にわたってテクノロジー関連リスクを完全に把握することができます。この情報を使用して、ビジネスにとって重要な資産を特定し、セキュリティのポリシーと標準を確立して伝達し、攻撃を検知してそれに対応し、セキュリティの不備を特定して修復することができます。機能には、組織のリスク態勢を経営陣に伝えるための、頑強な文書化およびレポート作成によるリスクの定量化が含まれています。

エンタープライズおよびオペレーショナル リスク管理

既存のその場しのぎの管理アプローチでは、多くの場合、リスク管理チームに過剰な負荷がかかり、経営陣と取締役会には、一貫性のあるリアルタイムのリスク状況が提供されません。Archer Enterprise & Operational Risk Management によって、サイロ化されたリスク リポジトリのデータがまとめられ、組織全体のリスクの明確な統合ビューが提供されます。また、組織のあらゆるレベルのリーダーが意思決定を行うためのツール、レポート、ダッシュボードも用意されています。さらに、セキュリティ、耐久性、法令遵守、監査、サードパーティー ガバナンスなどの特定の分野にオペレーショナル リスク管理プロセスを拡張するための基盤を確立します。

サードパーティー ガバナンス

組織は、製品とサービスの提供をサードパーティーに頼ることが多くなり、サードパーティーが他のサードパーティーに頼ることも増えているため、ビジネス機能のアウトソーシングの意味は、関連するリスクのアウトソーシングではないことを覚えておくことが重要です。サードパーティーのリスクは、情報セキュリティ、継続性、またはビジネスで使用される製品またはサービスが単に提供されないことなど、さまざまな形で現れます。Archer Third Party Governance で、組織は、サードパーティー ガバナンスのライフサイクル全体を管理できます。これには、拡張された企業およびサプライチェーンにサードパーティーから引き継がれたリスクへの対応、リスク要因および関連するアクションの重要度に応じた優先順位付け、主要なベンダーとサプライヤーのパフォーマンスの監視などが含まれます。宣言されたインシデントの調査に関連する問題は、一元化されたポータルで追跡して管理することができるため、全体の把握とレポート作成が可能です。インシデントがデータ侵害にエスカレーションされた場合は、より広範なビジネスに役立つ事前構築済みワークフローと評価機能により、セキュリティチームと連携して適切に対応できます。

監査管理

組織全体のリスクおよび統制情報の統合ビューを提供するArcher Audit Management により、リスク アセスメントとビジネスの優先順位に基づいて、監査作業の優先順位を設定できます。これにより、社内監査の役割は、純粋なコンプライアンス重視の機能から、ビジネスの戦略的な推進力にまで拡大されます。監査とリスク管理機能を統合することで、チーム間のコラボレーションが向上し、リスクと統制をよりプロアクティブに管理でき、適切な範囲の効率的な監査が強化されます。

業務環境の復元

最高に準備が整った組織であっても、業務を停止させるおそれのある危機に直面する可能性があります。危機発生時に優先してリストアすべき資産を把握していることは、継続的な成功だけでなく、組織の存続にとっても不可欠です。Archer Business Resiliency により、組織は、IT およびビジネスの停止に備えることができます。また、運用インシデントのカタログ作成と解決、および危機イベントと通信の管理を行うことができます。これにより、IT およびビジネスの停止による影響を軽減し、回復できない可能性のある重大な損害を防ぐことができます。

コンプライアンス管理

規制の新規制定や変更は絶えず発生しているため、組織はどの規制が関連しているかを理解するうえで、大きな課題に直面しています。Archer Regulatory & Corporate Compliance Management を使用すると、組織は、複数の規制機関からの情報を、検索可能な1つのリポジトリに統合できます。これは、規制の義務を特定して満たすだけでなく、規制の影響とビジネスコンテキストの確立にも役立ちます。その結果、持続可能で繰り返し可能なアプローチが可能になり、

コンプライアンスの一貫性と効率性が向上します。

公的機関のリスク管理

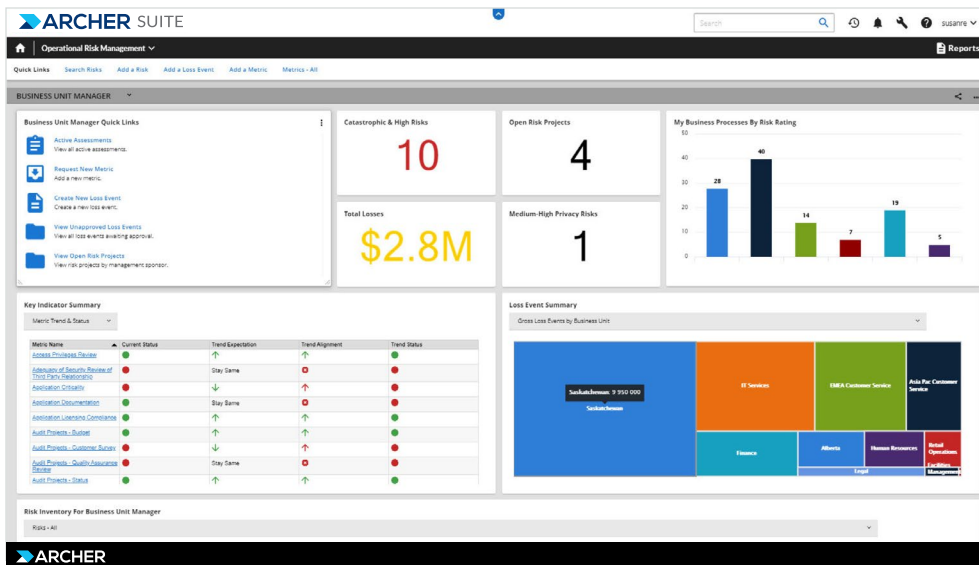
Archer Public Sector Solutions は、情報保証のプロフェッショナルが、政府機関におけるリスク管理の固有の要件を満たすために役立ちます。目的に基づいて構築されたこれらのソリューションにより、連邦、州、自治体の各政府組織は、効率的かつ安全に情報を共有し、リスクスコアに基づいて脅威への対応やその他のアクションの優先順位を付け、情報保証プログラムを成熟させることができます。米国の規制の対象である組織向けにArcher Public Sector Solutionsを使用すると、連邦情報セキュリティ管理法 (FISMA) のコンプライアンスと米国行政管理予算局 (OMB) の要件のサポートにより、許容されるリスクレベルで情報システムが運用されていることを容易に確認できます。

まとめ

統合リスク管理によって組織は、デジタル リスクなどのリスクの範囲全体の可視性と明確な理解により得られる情報に基づいて、ビジネス上の意思決定を行うことができます。Archer Suite を使用すると、次の機能によるリスクの管理に役立ちます。

- 組織全体のデータとリスクの分析を統合して、リスクの可視性を向上
- 組織のサイロを排除し、リスクのビジネス コンテキストを確立
- ビジネス部門と組織の境界を越えて、リスクの問題に関するコラボレーションを実現
- リスクとコンプライアンスの問題のアカウントビリティを定義し、実施
- プロセスの自動化により効率化を促進

ニーズの変化に合わせてリスク管理プログラムを進化させるために設計された Archer Suite には、多くの領域にわたるリスク管理ソリューションと、ビジネスリスクの最も重要なドメインに対応したユース ケースが含まれています。Archer ソリューションには、効果的に統合されたリスク管理プログラムを迅速に稼働させるために必要な、業界トップ クラスのベスト プラクティスが組み込まれています。



Archerについて

Archerは、統合リスク管理 (IRM) ソリューションのリーディングプロバイダーであり、お客様の戦略的意思決定と業務回復力の向上を、ビジネスとITの両方の影響を主軸に行う定性・定量分析をサポートする近代技術プラットフォームにより可能にします。GRCソフトウェアの真のパイオニアとして、Archerは、従来の業務運営リスクからESGのような新しい問題に至るまで、お客様がリスクとコンプライアンスの領域を管理できるよう支援することに唯一専念しています。リスク管理業界で20年以上の実績を持つArcherの顧客基盤は、世界最大の純粋なリスク管理コミュニティの1つであり、Fortune 500企業の50%以上を含む1,200以上の顧客を有しています。

www.ArcherIRM.com